

# 特別支援教育だより

第1号

令和7年5月9日

長崎市立深堀小学校

特別支援教育部

大型連休が終わりましたが、いかがお過ごしだったでしょうか。

学校では運動会の練習が連日続くようになってきました。子ども達は、きらきらした表情で練習に励んでいます。どうぞ、当日の子ども達の活躍をご期待ください。

この「特別支援教育だより」では、特別支援教育に関する情報をお届けしていきます。

## 特別支援教育って？

### ○将来を見据えた、その子にあった指導・支援

学校生活や学習で困っている子ども（障害の有無にかかわらず）に対して、その子にあった適切な指導・支援をして必要な力を高める教育を特別支援教育といいます。将来、生き生きと生活できることが目標です。

### ○30人中3名が必要としている！

全国実態調査（令和4年実施）の結果によると、小・中学校の通常の学級に在籍している児童・生徒のうち、約8.8%の児童・生徒に学習や生活面で特別な支援が必要であることが分かりました。また、本県の調査でも約1割は支援が必要であると分かっています。つまり、30人学級では、3人程度の子どもが「学習が分からない」「友だちとうまくいかない」「ルールが守れない」などの理由で困っているということが考えられます。

何らかの支援を必要としている子どもたちが、よりよい成長ができるように、必要に応じて校内・校外の様々な機関と連携して支援していきます。教頭を相談の窓口として、特別支援教育コーディネーターをはじめ、深堀小学校全職員で支援していきます。

お子様のことで気になることがありましたら、担任か教頭までご連絡ください。

### 【特別支援教育コーディネーター】

あおば学級担任、ひまわり学級担任、コスモスA学級担任、コスモスB学級担任  
コスモスC学級担任、たんぽぽ通級指導教室担当